

西伊豆町 第1ブロック・宇久須地区

津波避難行動ルールブック



平成31年2月
西伊豆町 町民防災会議



**第1ブロック宇久須地区
住民ワークショップ**

■実施内容

- ・避難ルートの危険性確認
- ・防災対応の話し合い
(避難場所など)



はじめに

西伊豆町における様々な災害リスク(地震、津波、水害、土砂災害)に対する防災対策として、町民一人一人の防災力(防災意識)を高め、一人でも多くの命が助かることを目的に「町民防災会議」を立ち上げました。

宇久須地区(第1ブロック会議)では、各区長をはじめとして、各区の防災委員や民生委員、それから各団体の代表者などが集まって、まずは地震・津波対策について協議をしてきました。このルールブックは、その協議状況をまとめたものです。

ただし、これは完成品ではありません。今後も内容を見直していくことはもちろんのこと、このルールブックに記載された内容をもとに、自分の命を守るための手立てや行動を付け加えていただいで完成となります。

この地区から一人も犠牲者を出さないように、これからも防災訓練などを通じ、各地区のみんなで考え、みんなで取り組んでいきましょう。

町民防災会議では、これからも住民のみなさんと協議を重ね、地震・津波のほかにも水害や土砂災害など、さらに対策を進めていきたいと考えていますので、忌憚の無いご意見をお寄せいただけますと幸いです。

西伊豆町 町民防災会議
第1ブロック会議 会長 矢岸 高弘



「地震の揺れは…最大で震度6強にもなり、
約3分間も揺れが続くと予測」

(内閣府想定による)

★まずは、地震の揺れから身を守りましょう

★自宅を安全な場所にしておく

家の耐震化は最も重要です。
家具の落下を防ぐ家具止めを確実に！

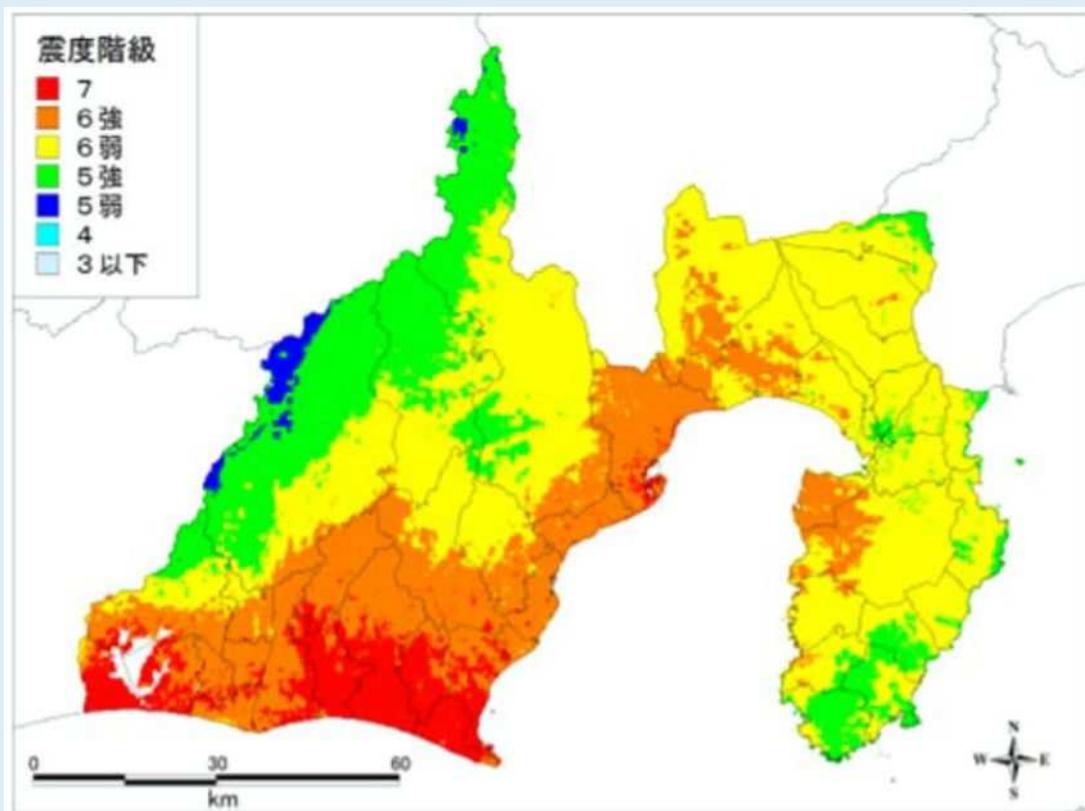
★確実に逃げられる方法を確認しておく

家族の避難場所を確認しましょう

★最終的に家族が避難する場所を決めておく

世帯別避難計画を作成しましょう

静岡県の震度予測



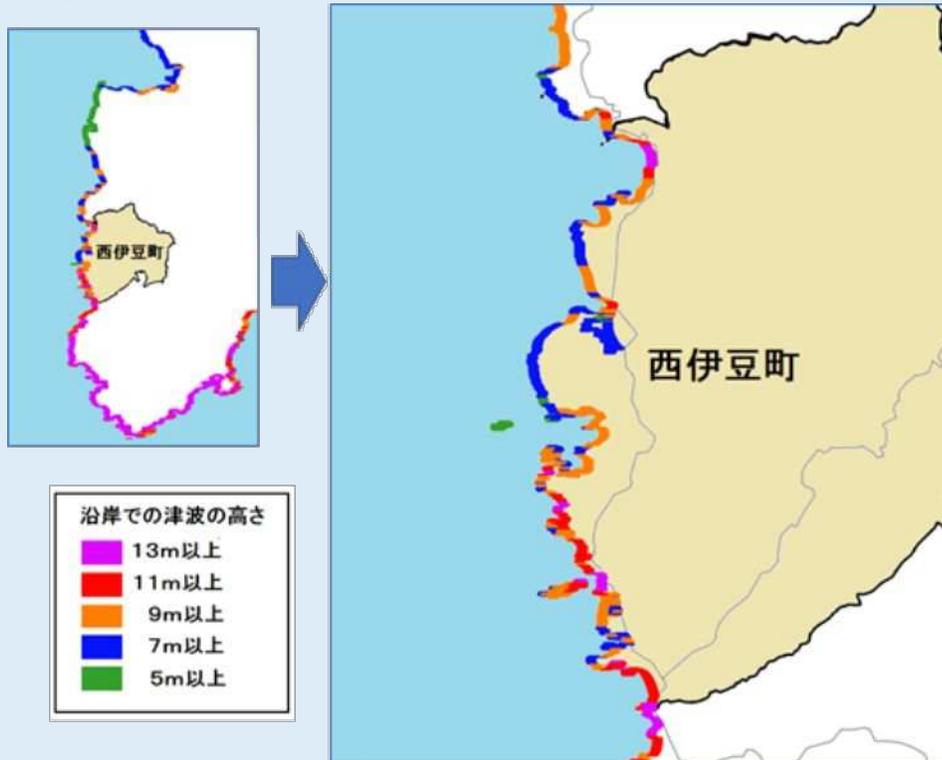
(出典:静岡県第4次想定資料から 南海トラフ東側ケースでの想定震度分布)



**「津波は…最短4分程度で到達し
高さ15メートルもの大津波になると予測」**
(内閣府想定による)

- ★津波から命を守るには、時間との勝負です！
何よりも命を守ることを最優先に考えましょう
- ★揺れたら“身の安全を確保しつつ” 情報を待たずに避難!!
- ★避難手段は徒歩、自動車は使わない
- ★避難後は津波が来ていなくても、自宅に戻らず
津波警報の解除が確認されるまで避難場所に留まりましょう

西伊豆町の津波予測



西伊豆町で最も高い津波の予測は15m……象島
 海岸線では最大14m……宇久須川河口北側・堂ヶ島付近・浮島北側
 高さ1mの津波が最も早く襲来するのは
 地震発生から3分49秒……田子島
 海岸線では4分01秒……安良里地区と田子地区の間
(出典:内閣府・南海トラフの巨大地震モデル検討会二次報告)

宇久須地区は、せまい道路や倒壊・転倒の恐れのある建物等が多数あります。避難する時は次の2点に気をつけましょう。

★道路が通れなくなることがあることを想定しておく

★いつもより移動に時間がかかることを想定しておく

安全な避難ルートを確認するため、町に要望することや、地区で住民が自ら実施すべきことを、以下のように話し合いました。

ルート上に危険なものが無くなり、安全に避難できるようにみんなで努力しましょう。



課題の内容	誰が対策する	どう解決する
ブロック塀が多い	町に要望	<ul style="list-style-type: none"> ブロック塀の新しい補助策を作してほしい 撤去後の新設、高さを低くする、最低の範囲を明確にする 現在あるものを利用しつつ、安全度を高める方法にも補助を出してほしい 危険度の点検・確認をしてほしい ⇒町の施策を周知する
	区	<ul style="list-style-type: none"> 建物の築年数を調べる アンケートを取る
電柱が倒れる危険	町に要望	電柱地中化をお願いする
避難地まで歩いて10分以上かかる	区・住民	訓練する
避難ルート、避難地が暗い	住民・各家庭	各住民が懐中電灯を持って避難するように徹底

宇久須地区の町民防災会議では、現状の避難地について、以下のように課題が指摘され、対応策をまとめました。さらに、新たな避難地の設置を進めていただくように、役場に要望を出すことにしました。

私たちも、避難地を少しでも整備して確実に避難できるようにしましょう。

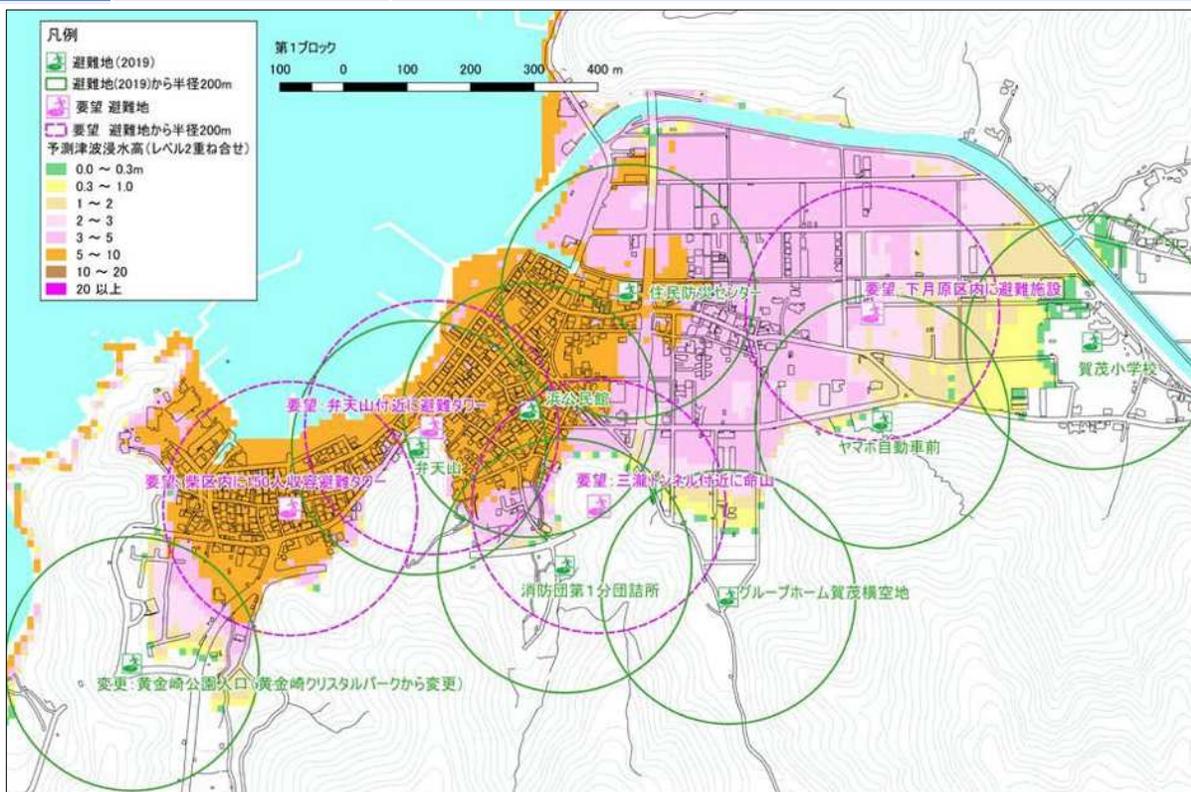
宇久須地区では、今後も避難が確実にいけるように避難地が整備されているかを注視し、議論を続けていきます。

<現状の避難地>

避難地一覧	改善すべき点	誰が対策する	いかに対策する
賀茂小学校	明かりがない →ソーラー式の照明が欲しい	町に 要望	役場に検討をお願いする
住民 防災センター	屋上への手すりが必要 屋上の囲いを完全にしたい	町に 要望	役場に施工をお願いする
浜公民館	屋上に上る方法の検討が必要	町に 要望	今年度(H30年度)の津波に対する強度調査結果を待って判断する
グループホーム 賀茂横空地	なし		
第1分団詰所 駐車場	経路が急だ	各自	気を付けて使用する
弁天山	草ぼうぼうで、急で狭い 手すりはあるが、急傾斜で登れない	・町に 要望 ・各自	・別の避難地の早期完成を要望 ・急傾斜なので使うときは注意が必要
黄金崎公園入口 ※名称変更	自家発電があるとよい (訓練ではここしか使っていない) 燃料備蓄が足りない 停電にならなければ照明はある	区	・「クリスタルパーク駐車場」と呼んできたが、駐車場の場所は浸水想定エリアで、名前を変更する(避難地の場所は駐車場上の草地付近) ・トンネル前倉庫より発電機・照明を一輪車で運搬する ・LEDライトを使う太陽光ライトを常時ONにしておく
ヤマホ自動車前	山が崩れてきて危ない、 使うなら土留めが必要 狭い・林で囲いが見えない 元の地名は”落石”という、使わない方がよい	区	木を切る (※危険度が高いので、今後の使用について検討が必要)

<新設・移転・廃止希望の避難地>

区分	場所・形態	要望内容
新設①	三瀧トンネル 命山	複数箇所から上げられるスロープを設置して命山を構築するように要望する
新設②	弁天山付近に タワー	弁天山避難地が危険なので、牛越神社横に避難タワーの建設を要望する
新設③	柴避難タワー	150人収容の避難タワーを要望
新設④	下月原に避難 施設	避難施設の早期完成を要望 土地の広さを考えるとタワーがいい
廃止	柴避難地	山が心配 立ち木も大きなものがある 夜は暗い →廃止する ※危険だし、現状でも使用していないから



- 西伊豆町では、すべての町民がすぐに避難出来るように、避難地の整備を進めています。
- 地図に書かれた円は、避難地から200メートルのラインです。



<避難に時間のかかる、ないしは困難な人を支援するためのルール>

基本的な考えかた

★支援者の負担にならない支援を行う

地域で避難支援を行うためのルール

★自分の安全を第一にして、ゆとりのある場合にのみ、支援する

★情報の入手や理解が困難な人のため、声かけをしながら避難する

★普段から家庭・隣近所で話し合っ、事前に納得しておくことが重要





家の耐震化

静岡県や町の補助制度を活用して、家を耐震化しよう！！

- 昭和56年以前の建物は、耐震診断をする
- 診断の結果を受け、必要なら耐震改修する

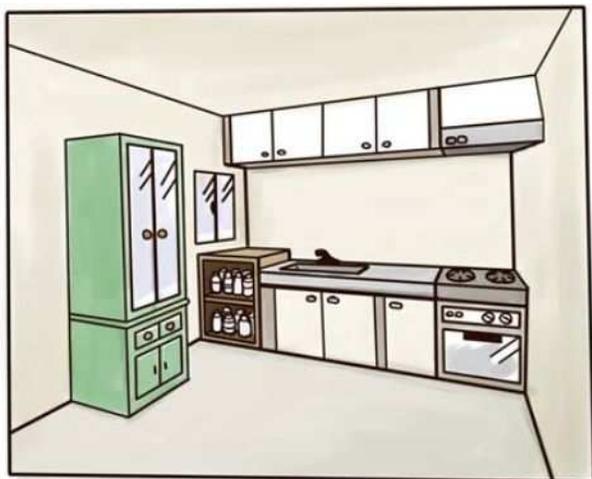
※家が倒れると津波避難の妨げになり、他の人の命を守れなくなります。

家具止めで家具の転倒・落下を防止

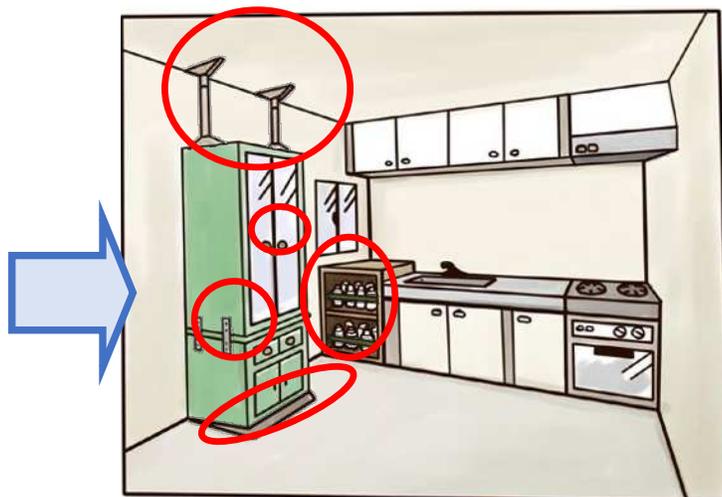
西伊豆町の補助制度を活用して、家具止めを実施しよう！！

- 普段使っている場所の周辺には背の高い家具を置かない。
- 寝る場所には、家具が倒れてこないようにする。
- 家具の転倒によって部屋の入口が塞がれないようにする。
- 下に重い物や危険な物、上に軽い物を収納する
- 家具をL型金具・クサリやベルトで固定する。
- ドアストッパー型の固定具や粘着ゴムで家具を固定する。
- 窓ガラスには飛散防止フィルムを張り破片が飛び散らないようにする。

家具固定前



家具固定後





自宅にいる場合だけでなく、日頃からさまざまな場面を想定して、避難場所や避難ルートを確認しておきましょう。

特に通勤先や通学先など、家族が普段いる場所については、その避難地を確認し、いざという時に慌てる事がないようにしましょう。

また、家族との集合場所や、緊急時の連絡方法を決めておきましょう。

※避難に関する世帯別の避難計画を作成しましょう

世帯別避難計画			
【 地区】	【 記入日】		年 月 日
【代表者氏名】	【住所】	【電話番号】	
1.避難場所と避難経路			
自宅からの避難場所		避難完了時間	分
2.非常持ち出し品の用意			
<div style="list-style-type: none;"> <input type="checkbox"/> 非常持ち出し袋 <input type="checkbox"/> 貴重品（現金・免許証・保険証・預金通帳のコピーなど） <input type="checkbox"/> 常備薬やお薬手帳など </div>			



3.家族の避難計画				
家族の名前	性別	年齢	通勤・通学場所からの避難先	避難完了時間
				分
				分
				分
				分
				分
				分
				分
				分
避難後の家族との集合場所				
避難後の家族との連絡方法				
4.緊急連絡先				
第1連絡先	【名前】	【電話番号】		
第2連絡先	【名前】	【電話番号】		
第3連絡先	【名前】	【電話番号】		
5.家族の避難支援計画				
家族の名前	避難時の支援	支援方法	避難地で過ごす時の留意点	
◆避難するときに持参すべきもの				
()				



6.かかりつけ医と常用している薬のリスト

家族の名前	病名	かかりつけ医	かかりつけ医の連絡先

ここにお薬手帳のコピーを添付

コラム 西伊豆町の支援策

西伊豆町では下記のような、静岡県や町独自の支援策を用意しています。

これらの支援策を積極的に利用して、自宅・地域の安全性をさらに高めましょう。

支援項目	支援策
耐震診断	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅 ※戸建のほか、長屋、共同建ても対象です ■費用・無料 専門家(静岡県耐震診断補強相談士)を派遣し、耐震診断を行います 診断後に、住宅の耐震性を説明するとともに、一般的な相談にも対応します
耐震補強計画作成	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・昭和56年5月31日以前に建築 ないしは建築中だった木造住宅 ■補助・耐震補強計画の策定作業 1棟ごとに・96,000円が限度 高齢者のみの住宅・144,000円が限度
耐震改修	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・昭和56年5月31日以前に建築した木造住宅 耐震診断で耐震評点が1.0未満のものを、1.0以上とする耐震補強工事 ■補助額・一般住居 50万円まで (耐震補強のPRを行う住宅に+30万円追加) 高齢者等住居 70万円まで (耐震補強のPRを行う住宅に+30万円追加)
家具止め	<ul style="list-style-type: none"> ■一般世帯・固定金具等の購入に要する経費 10,000円を限度額とする ■災害時要援護者世帯等・家具の固定に要する経費、および固定金具等の購入に要する経費 22,500円を限度額とする
ブロック塀対策	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・ブロック塀等撤去、およびブロック塀等の緊急改善 ■補助額・★撤去・1敷地につき10万円を限度 ★改善・1敷地につき25万円を限度
浮石落下防止	<ul style="list-style-type: none"> ■対象・住民や住居等に危害を及ぼすおそれのある浮石の落下を防止するため、自主的に行う防災工事 ■補助額・補助限度額は10万円

※町民防災会議のワークショップでは、東日本大震災の津波の映像を視聴しました。
このDVDは、町の防災課で所有していますので、地区の集会などでも視聴可能です。DVDを視聴して、津波の怖さを、ぜひ、皆さんも共有してください。

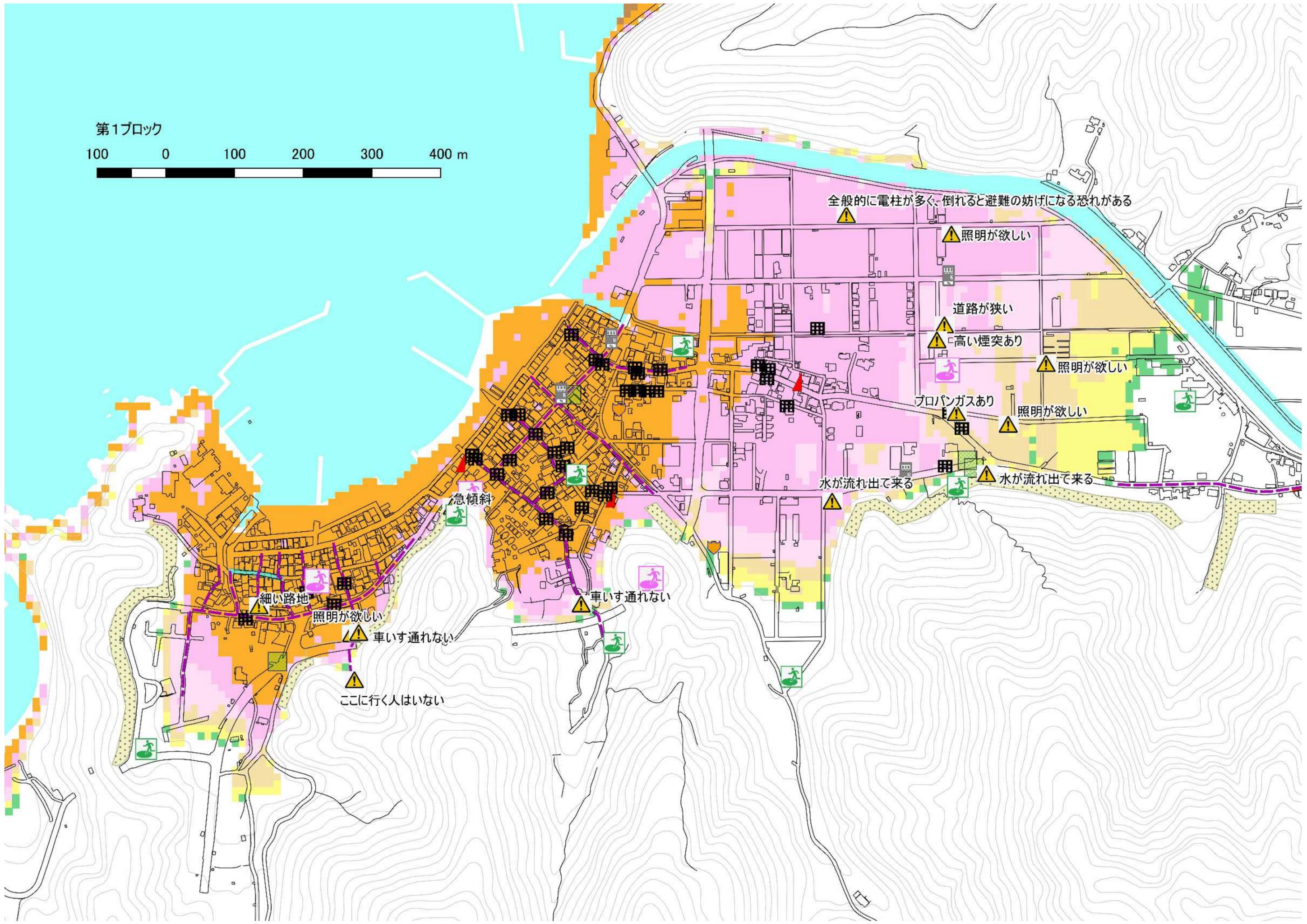
凡例

-  避難地(2019)
-  要望 避難地
-  コメント(2018.9.1)
-  消火栓・消火槽(2018.9.1)
-  駐車場(2018.9.1)
-  クーラー室外機(2018.9.1)
-  自動販売機(2018.9.1)
-  高い所に植木(2018.9.1)
-  割れる恐れある大きなガラス(2018.9.1)
-  看板(2018.9.1)
-  ブロック塀(2018.9.1)
-  倒壊恐れのある古い民家(2018.9.1)
-  崩れそうな斜面(2018.9.1)
-  避難経路(津波避難路マップ)
-  避難の助けになるもの
 -  20140701-水涯線
 -  使いにくい避難路
 -  避難路
 -  周囲より低い所
 -  広場
 -  危険な箇所
 -  危険な河川
 -  危険箇所(2018.9.1)
 -  崩れそうな斜面
 -  崩れそうなブロック塀

予測津波浸水高(レベル2重ね合せ)

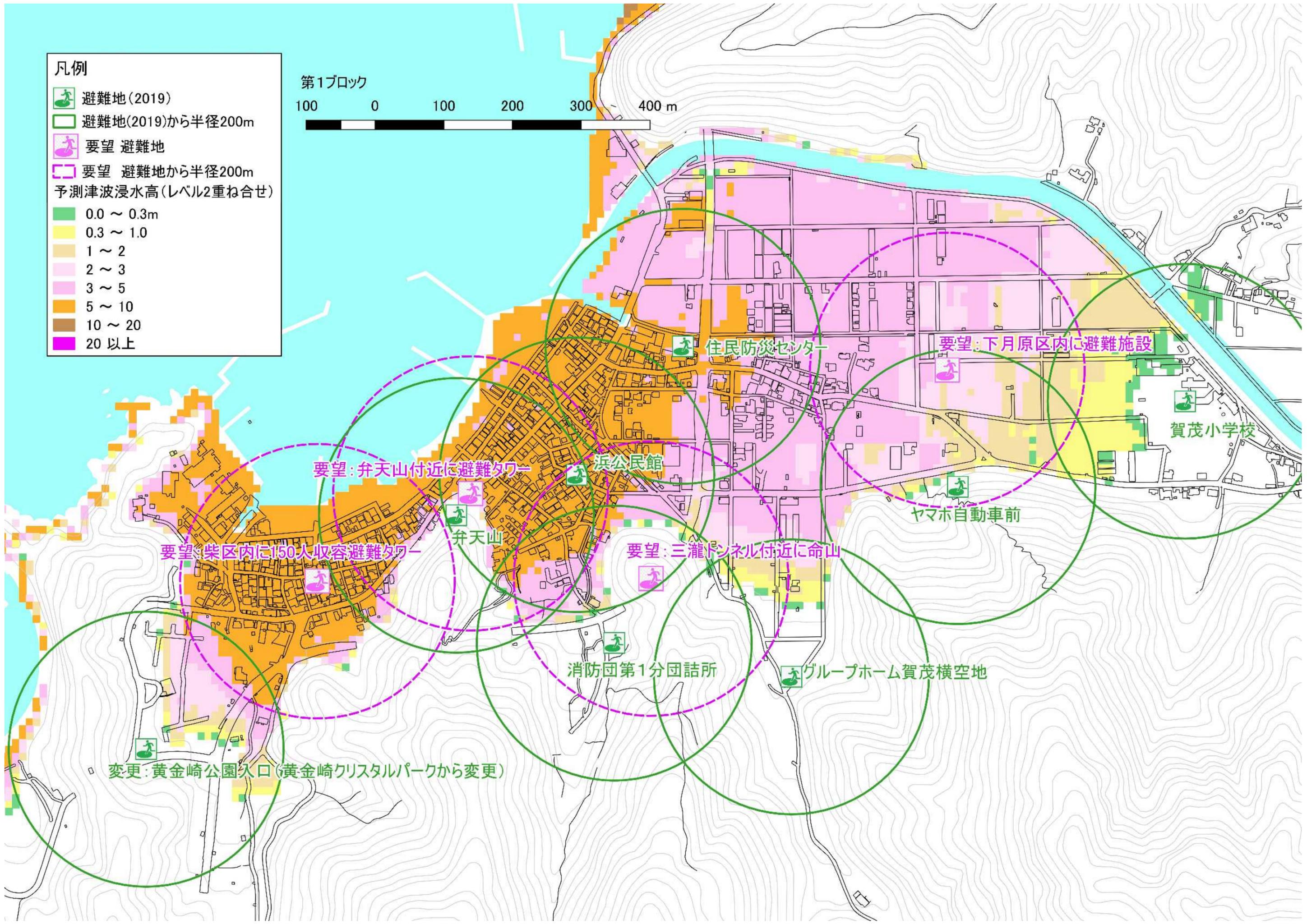
-  0.0 ~ 0.3m
-  0.3 ~ 1.0
-  1 ~ 2
-  2 ~ 3
-  3 ~ 5
-  5 ~ 10
-  10 ~ 20
-  20 以上

第1ブロック



凡例

- 避難地(2019)
- 避難地(2019)から半径200m
- 要望 避難地
- 要望 避難地から半径200m
- 予測津波浸水高(レベル2重ね合せ)
- 0.0 ~ 0.3m
- 0.3 ~ 1.0
- 1 ~ 2
- 2 ~ 3
- 3 ~ 5
- 5 ~ 10
- 10 ~ 20
- 20 以上



住民防災センター

要望:下月原区内に避難施設

賀茂小学校

浜公民館

要望:弁天山付近に避難タワー

弁天山

要望:三瀬トンネル付近に命山

ヤマホ自動車前

要望:柴区内に150人収容避難タワー

消防団第1分団詰所

グループホーム賀茂横空地

変更:黄金崎公園入口(黄金崎クリスタルパークから変更)